

「情報処理学会論文誌：数理モデル化と応用」の 編集にあたって

伊藤 実^{1,a)}

今年度3回目のTOMの発刊です。今号では、2011年5月開催のMPS83（岡山県立大学）から1編、2011年9月開催のMPS85（室蘭工業大学）から8編の合計9編を掲載しています。そのうち8編はオリジナル論文、1編は事例紹介論文です。MPS85は9月15～16日に室蘭工業大学で開催されました。今回、室蘭工業大学の渡邊真也先生のご尽力により研究会が開催できたことに感謝いたします。

TOM32の採録論文数/投稿論文数は9/21で、採択率は43%となります。今号の採録論文9編の担当編集委員は、池田大輔、北栄輔、北上始、庄野逸、鈴木智也、高田司郎、堀田一弘、宮崎浩一（2編）となっています。今後も4か月ごとの定期刊行を目標に掲載までの期間をできる限り短くするよう努力したいと思っていますので、TOMへの積極的な論文投稿をお願いします。

さて、TOMに掲載される論文のカテゴリーとして、オリジナル論文以外に事例紹介論文、サーベイ論文、システム開発論文があります。オリジナル論文は、通常の意味の学術論文で内容に新規性、有用性が認められるもの、事例紹介論文は、有用かつ興味深い応用事例を扱っているもの、サーベイ論文は、ある問題に関してどこまで解決され、今後の課題は何かなどを最新の研究動向を踏まえて紹介しているもの、システム開発論文は、これまでコスト等のため解決困難な問題が提案システムを適用することで（効率的に）解決されたことを報告するものです。数理モデル化と応用という観点からそれぞれのカテゴリーの趣旨を踏まえて、従来論文になりにくかった研究もTOMに積極的に採録していきたいと思っています。

今号を見ても分かりますように、TOMに掲載される論文はコンピュータサイエンスの境界領域を含む非常に広範囲なものになっています。そのため広い分野に対応できるように多くの編集委員を必要としています。これまで慢性的に編集委員が不足している状態です。TOMでは編集委員を常時募集していますので、自薦・他薦を問わず興

味のある方は伊藤（ito@is.naist.jp）までご一報ください。

本論文誌の配布はオンライン版のみとなっています。なお、論文誌の定期購読制度もありますので、ぜひ、こちらもご利用ください。また、研究会開催記録、研究会登録案内、投稿案内などに関する最新の情報はすべてWWWページ上に掲載しております。すべての情報は研究会ウェブページ（<http://www.ipsj.or.jp/sig/mps/>）よりたどることができますので、MPS研究会および論文誌TOMに関しては、そちらをご参照くださいますようお願い申し上げます。

¹ 情報処理学会論文誌「数理モデル化と応用」編集委員長
奈良先端科学技術大学院大学
Nara Institute of Science and Technology, Ikoma, Nara 630-0192, Japan

^{a)} ito@is.naist.jp